


令和2年度		
氏名	おだかわ かつお 尾田川 勝雄	
生年月日	昭和28年生	
住所	岩手県九戸郡軽米町	
品目	雑穀（ざっこく） ・我が国で伝統的に生産されてきた、あわ、きび、たかきび、えごま、ひえ等で岩手県が主産地 ・1990年以降の雑穀ブームで需要が増加する一方、生産者の高齢化等で生産が対応できない状況 ・岩手県の試験研究機関では独自に品種育成や栽培方法に関する研究開発を推進	
技術	岩手の伝統知を取り入れた持続的な雑穀の契約栽培を推進 ・伝統的な栽培方法を基本に輪作などにより病害虫を抑えて農薬不使用で栽培 ・地域ごとに推奨する品目・品種（県育成品種や在来品種）や栽培法を契約栽培農家に提示して安定生産を実現 ・さまざまな雑穀で新商品を開発し、尾田川農園ブランドで全国に販売	
活動状況	・昭和48年に就農、野菜・椎茸のほかにアマランサスも生産・販売し、平成元年度に加工場を新築して翌年から雑穀の契約栽培を開始 ・平成4年度に本格的に雑穀部門を立ちあげ、平成13年度には専門化して規模を拡大するとともに6次化に注力、現在、契約栽培者270名（54ha） ・JAや全国の大学農学部、農業大学校等から、毎年、長期・短期を含めて研修生を2～5名、受け入れていた（現在は短期間研修のみ）ほか、地方自治体と協力して契約農家に対する栽培技術の指導を実施 ・消費者を対象としたセミナーを全国各地で開催し、中学校での食育にも対応 ・新型コロナウイルスで活動は減少しているが、栽培指導等は地域で実施している。 ・直売（全国百貨店）での売り上げは減少した。 ・セミナーも令和2年度はなし、令和3年は7月10日に3カ所実施した。 ・減退する状況に「雑穀の素晴らしさ」を知ってほしいと、youtubeに各作業の動画を配信している。5月より4～5本を配信、徐々に視聴者が増加している。	
相談に 応じられる 分野・内容	・伝統知を基本とした雑穀の栽培・加工・流通と経営 ・環境保全型の地域営農の取組のアドバイス ・6次産業化の地域展開と地域おこし、商品づくり ・各種子の特性や栽培方法 ・加工特性や古来の方法、食べ方 ・雑穀の歴史	
受賞歴等	・平成26年度 環境保全型農業推進コンクール（現在名：未来につながる持続可能な農業推進コンクール） 東北農政局長賞 受賞	
主な役職	・平成9年～平成15年 晴高地区農産物直売組合 組合長（初代） ・平成31年～ 軽米町高家用水組合長	
HP	尾田川農園 http://odakawanouen.com/	



アマランサス



実習生の受け入れ



契約栽培農家のキビ栽培圃場にて契約農家の研修会